

地域教育  
情報紙 (28年度)  
第4号

# 颯と流

平成28年11月14日発行  
《担当》 富士・東部教育事務所  
地域教育支援スタッフ  
小林誠二・渡邊 聡・長田 茂

『颯と流』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、

## 地域教育の「横の連携」と「縦の接続」

を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。1年に6回程度の発行を予定しています。

【 カラー版は、富士・東部教育事務所のHP からご覧いただけます。

URL : <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/index.html> 】

富士・東部教育事務所地域教育支援スタッフでは、

- (1) 家庭、学校、地域の連携による地域ぐるみの教育活動の活性化を図る。
- (2) 地域における体験活動・ボランティア活動の環境を整備し、地域教育力の活性化を図る。

を目標に掲げ、地域の教育力を高めるためのコーディネーターとして、家庭・学校・地域社会がお互いに連携を深め、青少年の健全育成のため活動しております。

## 子どもたちの教育は地域全体で担う !!

### 第19回 南都留地域教育フォーラム



南都留地域教育推進連絡協議会（会長：三井恵司下吉田中学校長）は、11月4日（金）に富士吉田市立下吉田第二小学校・下吉田コミュニティーセンター・南都留教育会館において「平成28年度南都留地域教育フォーラム」を開催しました。

今年度は『子どもたちの教育は地域全体で担う』～みんなで育む地域連携・地域交流～をテーマに、全体会及び7つの分科会を実施。当日は地域の子どもの育成に関わる各団体から約300名が参加しました。

全体会の基調提案では、「子どもたちが安心して学べる環境づくりと、心身共に調和のとれた子どもたちの成長を願い、本日ご参集の様々な立場の皆様からの提言をいただくなかで新たな『連携活動』を創造する」ことが提案されました。アトラクション「光っ子連携コンサート」では、下吉田中学校「合唱団」による合唱曲の披露がありました。地域の教育力を背景に、保・幼・小のそれぞれの発達段階を通して、豊かに成長してきた中学生の美しい純粋な歌声に会場は感動の渦に包まれていました。

当日は、公私ともにお忙しい中、教育フォーラムにご参加いただきありがとうございます。皆様からいただきましたご意見・ご感想が生かせるよう、今後とも「連携活動」をキーワードとする地域教育推進に生かしていきたいと考えております。今後もお力添えをいただけますようお願いいたします。



教育フォーラムの様子は、下記のアドレスからご覧いただけます。  
<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/minamituruforumtop.html>

## あそびながら科学を学ぼう !!

# 2016わかっるサイエンスフェスティバル in 都留高SSH

県立都留高等学校（小俣岳校長）と北都留地域教育推進連絡協議会（江口英雄会長）は、10月8日（土）に都留高校80周年記念館鶴聲ホールにおいて「2016わかっるサイエンスフェスティバル in 都留高SSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）」を開催しました。

参加対象は南北都留地区の小学生とその保護者で、75組150名の定員に対して156組341名の応募がありました。そのため、抽選により当日は児童・保護者合わせて169名が参加しました。

地域の児童のみなさんに、科学の実験・観察を通して、その「不思議さ、おもしろさ」を体験し、「科学への興味・関心」を高めてもらおうと企画した同フェスティバルは、平成17年度にスタートして今年度で12回目を迎えました。

開祭式に続き、前半は3つのグループに分かれて「チャレンジブース」を体験。「カチャカチャきらり」「トースターでキーホルダー」「はっばの水のとおりみち」の3種類の科学実験にチャレンジしました。後半は、「飛ぶ種の模型をつくろう」「ドライアイスで遊ぼう」「化石をとりだそう」など12ヶ所の「遊びの広場」で思い思いに、科学の不思議さやおもしろさについて学ぶことができました。

実験の指導や説明は、46名の都留高1、2年次生が担当。子ども達にわかりやすく、丁寧に説明していました。参加した児童からは「科学の色々なことが知ることができてよかった。面白かった。」保護者からも「身近なところから科学が感じられてとても楽しかった。高校生の説明が児童の目線で話してくれて分かりやすかった。」などの感想が聞かれ、大変好評でした。



## HAPPY SMILE やまびこまつり

### ☆やまびこ支援学校 「やまびこまつり」☆

県立やまびこ支援学校（藤川健校長）では、10月8日（土）に第38回「やまびこまつり」を開催しました。当日は、「HAPPY SMILE やまびこまつり～仲間と協力しよう～」をテーマに舞台発表や作品の展示、作業班販売会などが行われ、保護者など多くの方々が来校する中、楽しいひとときを過ごしました。

午前中の「うたとげきの会」では、小学部「しらゆきひめ」、中学部「昔話 エピソードやまびこ～出会いをつなげて～」、高等部「ことばのか～届け、響け 36人の思い!～」をそれぞれ熱演。児童生徒は練習の成果を十分に発揮し、会場の体育館は感動と共に大きな歓声と拍手に包まれました。

「展示」では、「陶芸」「絵画」「ランプシェード」「ペットボトルホルダー」等、日頃の授業で作成した力作を披露。また、販売会では高等部の作業班が心を込めて製作、栽培した「陶芸皿」や「アイロンビーズを使った小物」、「農作物」などを販売し、多くの購入者で賑わいました。





**「一人一人に合った支援のために !!」**

## 南都留都留特別支援教育研究会学習会

南都留特別支援教育研究会(会長：禾生一小学校田辺洋利校長)が、今年度の活動をスタートしました。今年度の事務局は禾生第一小学校が担当します。

5月16日(月)に行われた第1回研究会では会員の自己紹介に続き、今年度の活動計画、8月10日(水)に開催される「山梨県特別支援教育研究大会」の役割分担等について話し合われました。また、第2回研究会を7月5日(火)に実施。まず、「山梨県特別支援教育研究会」に向けて、提案者や運営に関わる役割分担の確認を行った後、本年度より3ブロックに分かれて実施する「青い麦の子大会」に向けた打合せをブロックごとに行いました。第3回研究会は

8月30日(火)に実施。協議事項後の学習会では、ふじざくら支援学校5名の先生をアドバイザーにお招きして、全体学習とグループ学習を行いました。全体学習では、「児童生徒の実態をふまえた合理的配慮」という内容で実施。次のグループ学習は、「支援学級児童生徒の進路について」と「コミュニケーション能力の育成・気持ちのコントロールについて」の2つのグループに分かれ、事前に先生方の日頃の悩みや疑問などをアンケートにとり、それについての話し合いが行われました。最後にアドバイザーの先生から、助言をいただき大変有意義な学習会となりました。次回は、2月21日(火)に第4回研究会が予定されています。



**交流と体験的な学習で、楽しいひととき !!**

## 青い麦の子大会

南都留特別支援教育研究会では、「児童・生徒の交流と体験的な活動を通して生活能力を高めるとともに、協力し助け合うことの楽しさを学ぶ」ことを目的に本年度も「青い麦の子大会」を開催しました。今年度は従来とは異なり、3ブロックに分かれ、「吉田ブロック」と「湖畔・忍野・山中ブロック」が9月30日(金)、「都留・西桂・道志ブロック」が10月7日(金)に開催されました。この大会は、南都留地域の特別支援学級に在籍している子どもたちの交流会で、3ブロックあわせて児童・生徒135名と、引率の

先生126名の参加となりました。

「吉田ブロック」と「都留・西桂・道志ブロック」は、富士すばるランドフォレストパーク・ドギーパークで、「湖畔・忍野・山中ブロック」は富士河口湖町市民体育館・ちびっこ広場で実施されました。

それぞれの会場で、午前中は体育館で開会式や「ふれあい集会」が行われました。一人ひとりが元気に自己紹介をした後は、中学生の司会進行で、ビンゴ・じゃんけん列車・歌などのゲームを楽しみ、他校の子どもたちとの親睦が深まりました。趣向を凝らした「ふれあい集会」で、緊張していた気持ちが徐々に和らぎ体育館内には子どもたちの明るい声が響き渡っていました。「湖畔・忍野・山中ブロック」では「ふれあいコンサート」も行われました。

午後は買い物をしたり、芝生やアスレチックなどで遊んだりなど、普段校内では経験できない体験を、自然の中で思う存分楽しむことができました。参加者は楽しい思い出をたくさん作る事ができたようです。



## ものづくりのおもしろさを体感!!

吉田高等学校

## メカパイロット出前授業



40名の定員が一瞬で埋まってしまいました。当日は、鍵山先生の指導のもと大学生のアシスタントにも協力していただきながら「ものづくり」を楽しみました。また、他学年が入り交じった班で実施したことによって、コミュ

ニケーションも深まったようです。生徒たちは、試行錯誤をしながら素晴らしい作品を仕上げました。

参加した生徒からは、「普段はできない体験をすることができ、とても楽しめました。」「自分たちの班のオリジナリティを出すプログラムを作成し、それがうまくいったときは感動しました。」などの感想が寄せられました。『ものづくり』のむずかしさやおもしろさを体験し、『ものづくり』への興味関心が高まったようです。



## 学校生活を通して、感じ、学んだ貴重な体験を発表!!

## ひばりが丘高等学校 生活体験文発表大会

県立ひばりが丘高等学校(松野正士校長)では、9月5日(月)に生活体験文発表大会を開催しました。この発表会で選抜された代表者は、山梨県定時制通信制教育祭で発表します。過去には、教育祭での上位入賞者を複数輩出するなど、教育的な成果も上がっています。

生活体験文発表大会の目的は、学校生活を通して学び、感じた貴重な体験を文章で表現し発表することによって、自己を見つめ直すきっかけとすると同時に、多くの人々に感動と励ましを与えることです。当日は、各学年・クラスの代表者11名が、「全国大会とバイトについて」「これからの学校生活」「卒業への道のり」「夢への一歩」など、具体的に自分の言葉で表現されていました。

それぞれの発表からは、学業との両立を目指して努力している姿や、今までの生活を振り返り、自分の悩みや困難を克服し、前向きに高校生活を送ろうとする生徒の熱い想いをうかがうことができました。

発表を聞いていた生徒からも、発表者の生き方から学び、一人ひとりの違いを認め、自分と向き合うことができた発表会となったようです。言葉を使って意思の疎通を図り、言葉にして人に伝えることの大切さを学ぶことができました。

また、当日は芸術鑑賞会「ゴスペル&ミュージカルソングコンサート」もあわせて行われました。





# 子育て支援リーダー実力アップ講座が終了

地域での子育てや家庭教育の支援活動を積極的に推進できる人材の養成 !!



山梨県では、山梨県立大学との協働により地域の子育てネットワークづくりのための「子育て支援リーダーアップ講座」を平成25年度より3ヶ年にわたって実施してきました。今年度からは、「地域での子育てや家庭教育の支援活動を積極的に推進できる人材を養成する。」ことを目的に、「子育て支援リーダー実力アップ講座」として6月17日(金)から合計9回の講座を開講。受講者は、家庭教育・子育てにおける喫緊の課題についての講義と実技演習など、毎回各々のテーマについて知識を深め、実力アップを図ってきました。

最終回となった10月7日(金)のグループ自主研究発表会では、「子育ての現状から～今の保護者が求める支援とは～」や南北都留地区の受講生による「子の育てにくさを感じている保護者への支援」など、グループごとに取り組んできた研究の成果や今後の課題を発表。いずれの発表も大変興味深く、講師からは高い評価をいただきました。

発表会後に行われた閉講式では、29名の受講者に修了証が手渡されました。最後に、講師の先生方から「支援リーダーとして、課題発見の力・多様な支援をする力・課題に対する対処と調査の方法を考える力・分かりやすく伝える力・ネットワークの力・行政や県立大学とのつながりを人的資源として活用することが大切です。」などのアドバイスをいただき、すべての日程が終了しました。

今回受講された皆様にはそれぞれの地域や職場等において、「子育て支援リーダー」としてますます活躍されることを期待します。



## 明るい豊かな社会の実現に向けて !!

### 上野原青年会議所 親子でつくる和菓子教室



「和衷協同～明るい豊かな社会の実現に向けて～」をスローガンに掲げる上野原青年会議所(坂本康嘉理事長)では、9月24日(土)に上野原市勤労青少年ホームにおいて「親子親睦事業 親子でつくる和菓子教室」を開催しました。当日は、地域の6歳前後の子どもたちや保護者、青年会議所のメンバーなど、約45名が参加。親子のコミュニケーションを深めることを目的に、親子や友達同士で和菓子作りに挑戦しました。

挑戦した和菓子は、「水まんじゅう」と「ねりきり」の2種類。子どもたちはグループごとに親子で力を合わせ、水まんじゅうの容器へのマジックを使った装飾や色のついた「ねりきり」を粘土のように使った形作りなどを楽しんでいました。

最後に自分たちで作った和菓子を食べて感想発表を行い、お互いに交流を深め合いました。

上野原青年会議所では、今回の親子親睦事業に引き続き、今後もさまざまな事業に取り組んでいく予定です。

## 産業技術短期大学校出張授業

# 東桂小学校「おもちゃ作り教室」



産業技術短期大学校（阿部邦彦校長）では、地域連携及び学校間連携の推進・充実に積極的に取り組んでいます。同校教職員が小中学校で出張授業を実施することで『ものづくり』の仕組みや面白さを伝え、小中学生のキャリア教育に役立てていきたいと考えています。その機会として、10月6日（木）には、谷村第一小学校（村上憲司校長）で「吹き矢の仕組み」を実施。10月24日（月）及び31日（月）の2日間に渡って、宝小学校（小俣一夫校長）の科学クラブに所属する4～6年生を対象に「はんだ付けによるフルカラーLEDランプの製作体験」を実施しました。

また、10月25日（火）には、東桂小学校（野木忠一校長）で「おもちゃ作り教室」を開催。この日は、生活科・国語科の授業の一環として同小学校の2年生約59名が参加し、産業技術短期大学校の2名の先生が、「CDディスクによるこま製作」及び「ふき玉の製作」を実施。小学生が身近な材料でのおもちゃづくりを行い、その後、講師の話をもとに説明書の作成もしました。



おもちゃ作りに参加した児童達は、普段とは少々違う内容に戸惑う場面もありましたが、互いに作業の確認をしながら、授業に興味をもって取り組んでいました。児童からは、「コマをきれいに作ることができて、とても嬉しかった。ものづくりはとても楽しかった。また、違う物も作ってみたい。」など感想が寄せられました。

## 山梨ことぶき勸学院レポート

### ～勸学院創立30周年記念式典・勸学院祭～



10月20日（木）、コラニー文化ホールにて「勸学院創立30周年記念式典」及び例年開催の「山梨ことぶき勸学院祭」が行われました。午前中は30周年記念式典を、後藤齋山梨県知事を始め多くの来賓をお迎えし開催。30年のあゆみを振り返り、その成果を確認しあいました。また、記念講演として、山梨学院大学サッカー部総監督の横森巧氏から「ボールと半世紀を語る」と題したお話を頂きました。

午後は、「30年歴史の上に更なる歩み勸学院」のテーマのもと勸学院祭が開催されました。勸学院祭は、「山梨ことぶき勸学院生の日常の研鑽や成果の発表等を通し、心豊かな学院生活の向上に資すること」をねらいとしています。当日は、各地域の教室による合唱・ダンス・舞踊・楽器演奏等の舞台発表が行われました。各教室とも趣向を凝らし、場内を笑いに包み込んだり、感嘆させたりと、それぞれの特性を生かすとともに日常の研鑽や成果が十分に発揮されていました。



【 カラー版は、富士・東部教育事務所のHP からご覧いただけます。】

URL : <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/index.html> 】

地域の皆様のご支援ご協力を得ながら、実りある実践となるよう努めて参ります。各事業についてご意見ご要望がありましたら、地域教育支援スタッフまでご連絡ください。

※連絡先 富士・東部教育事務所 地域教育支援スタッフ 0554-45-7841